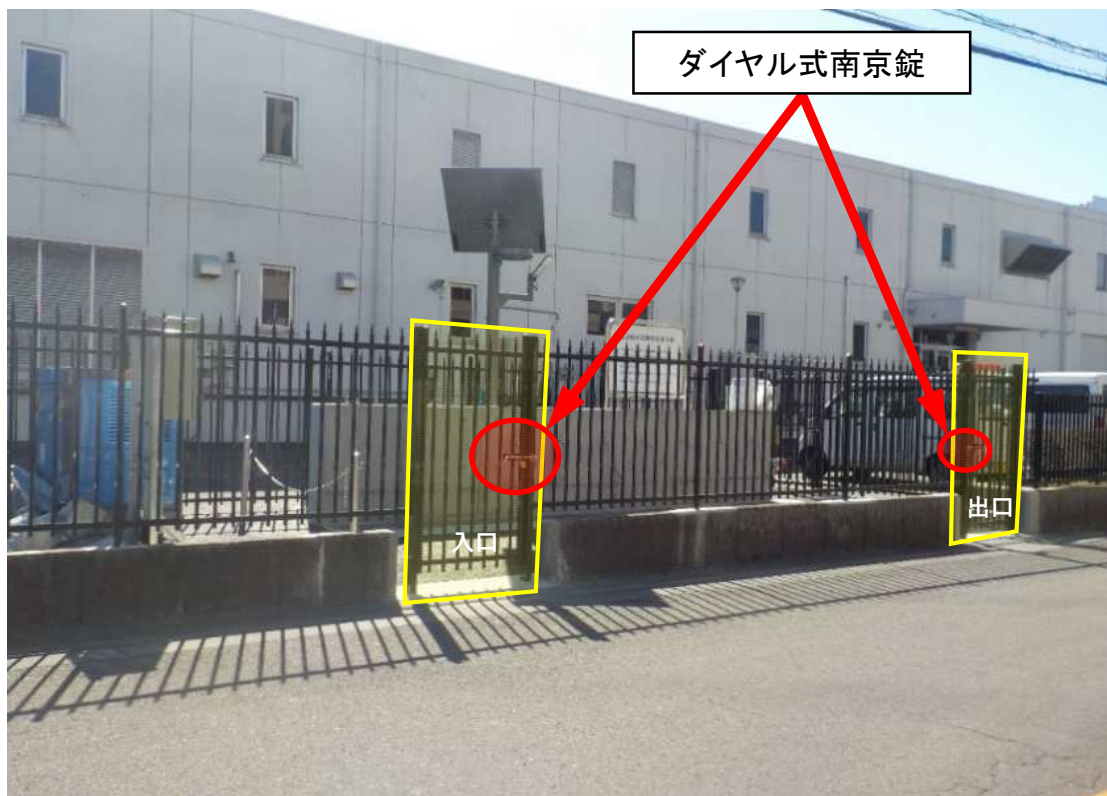


白幡配水場応急給水施設開設方法（住民用給水栓）



- ① 住民用給水栓のフェンス扉（ダイヤル式南京錠）を開錠して入場する



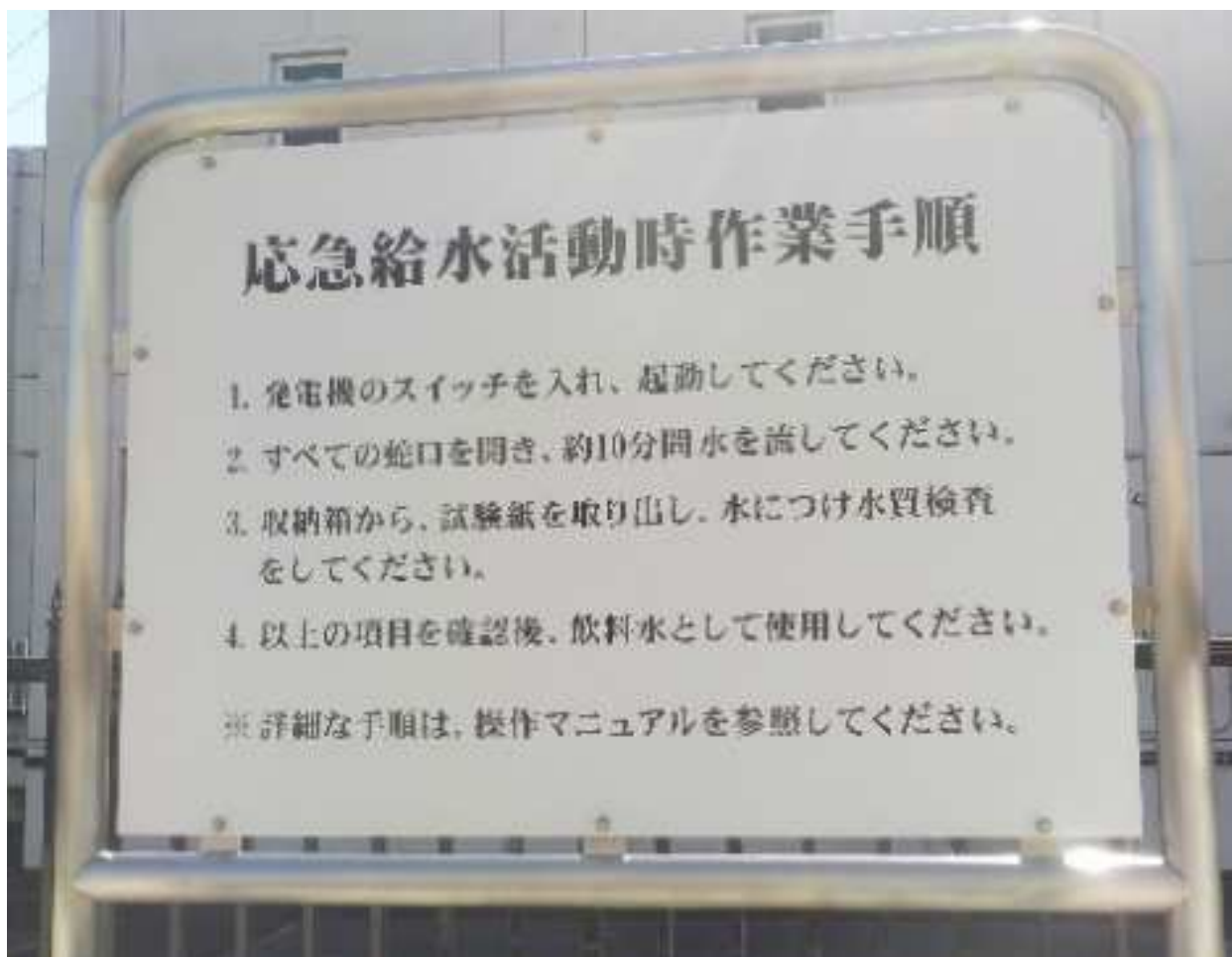
入口・出口それぞれのダイヤル錠を開錠し、フェンス扉を開く



出入口の南京錠を開錠する

※防犯上、開錠番号を変更する場合があります
 ※開錠番号は近隣自治会に公開しています

② 作業手順書を確認する



場内に作業手順書の案内看板があります

③ 自家発電機を稼働させる ※別添「自家発電機の稼働方法」を参照



別添

自家発電機の稼働方法

A 発電機の始動

【重要事項】
第一手続を完了して、安全を確認し、操作盤を操作する。

1. ①のしゃ断器が「OFF」になっていることを確認する。

2. ②のスタータスイッチを「始動」に動かし、エンジンを始動する。

（スタータキーは、操作盤内にあります。）
※ スイッチは、稼働後に手を離すと「停止」位置に戻ります。

【注意】
【無負荷で始動しづらいときの対処法】
・スタータスイッチを手動位置に戻して再稼働（約1分）
・手動ランプが点灯したらスタータスイッチを「始動」に動かしてエンジンをかける。

赤点灯
→ 始動

別添

※別添（マニュアル）は収納箱に保管されています

※ 自家発電機は一度稼働させれば、以降に来場された方の操作は不要です

④ すべての蛇口を開き **約10分間** 水を流して排水する（管内の停滞水を排水）

給水栓の近くにある **収納箱** から **蛇口用ホース** を取り出す



収納箱



収納箱の中にホースが入っています

- ※ 蛇口用ホースの劣化防止のため、収納箱に保管しています。
- ※ ポリタンクは収納箱の重しです。中の水は飲めません

蛇口用ホース にパッキンが付いていることを確認し、取り付ける



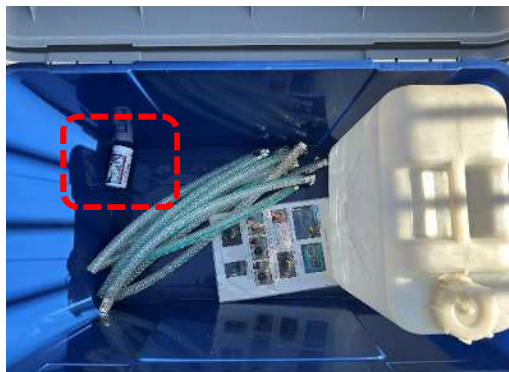
パッキン: 黒色のゴム輪



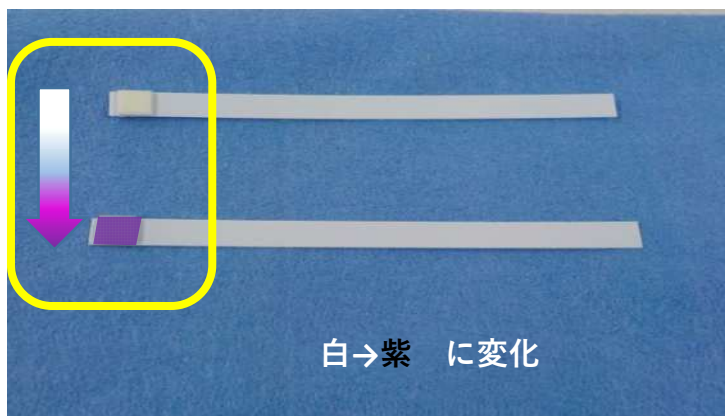
ホースの取付け後に、蛇口を開き、**約10分間** 排水する

⑤ 簡易水質検査（残留塩素測定）を行う

給水栓の近くにある 収納箱 から 試験紙 を取り出す



試験紙を1本取出し、蛇口から流れる 水に数秒間 当てます



試験紙の色が 「白」 から 「紫」 に変化することを確認します ※薄紫でもOK

⑥ 給水開始

持参した入れ物に給水し、持ち帰ります



水道総務課 広報・防災係
TEL 048-714-3182

自家発電機の稼働方法（白幡配水場）

1 発電機の稼働（始動）

1-1 操作パネルを開く



パネル開写真

発電機正面の取手部を引いて、操作パネルを開きます

1-2 緊急停止ボタンを解除する



ボタンを右に回すと解除

1-3 三相遮断器の「OFF」を確認し、調整レバーを「始動／アイドリング」にする



1-4 スタータースイッチ（鍵）を「予熱」にあわせて、予熱ランプを点灯させる

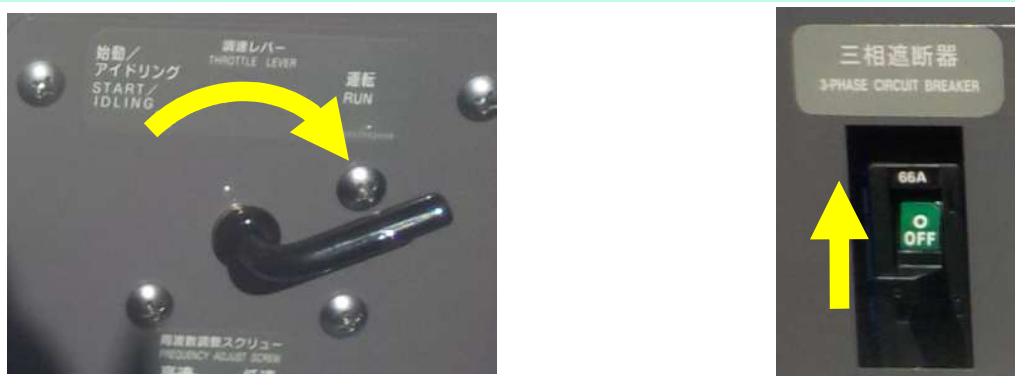


鍵は操作パネル内に置いてあります

1-5 予熱ランプが消灯した後、スタータースイッチ（鍵）を「始動」に回す



1-6 調整レバーを「運転」にし、三相遮断器を「ON」にする



1-7 発電機の始動完了 ※蛇口から水が出ます

2 発電機の停止 ※始動方法と逆の手順で操作する

2-1 三相遮断器を「OFF」にし、調整レバーを「始動／アイドル」にする



2-2 スタータースイッチ（鍵）を「停止」に回す



2-3 発電機の停止完了